



9・51(対増)になりました。それぞれの目的に応じ、一般会計とは別に運営する6つの特別会計と合わせた総額は57億9593万8千円で、昨年より3542万8千円の増額(伸率0・62%)になりました。

自主的に収入できる財源は全体の20・58%。一般会計の歳入は、まちが自主的に収入できる財源の自主財源(町税・分担金・負担金・使用料・手数料など)と国や県により定められた金額を交

また、依存財源は、地方交付税の17億972万5千円(昨年度当初予算より1億39万4千円の減)や県支出金の2億745万7千8百円、事業を行うためにまちが計画的に資金を借り入れる町債の6億6200万円など29億4398万8千円(一般会計全体の79・42%)です。

福祉、健康づくりなど民生費に8億6千万円。まちづくりを進めるための予算の使い道を説明すると、福祉や健康づくり、保育施設などの費用に使う民生費が8億6044万5千円、町債返済金の公債費が7億3760万8千円、選挙費用や一般的な管理事務経費などの総務費が5億3840万6千円になっています。

また、予防接種や環境衛生関係に使う衛生費が3億9008万6千円、農地の保全や水路の整備などに使う農林水産業費が3億5784万8千円、町道の改良や整備費などの土木費が3億3675万6千円、学校・社会教育・社会体育などに使う教育費に3

会計別の当初予算額表

(単位：千円 = 減額)

会計名	平成16年度 当初予算	平成15年度 当初予算	比較	伸率(%)	
一般会計	3,707,000	3,385,000	322,000	9.51	
特別会計	国民健康保険	363,669	347,498	16,171	4.65
	老人保健	772,142	830,615	58,473	7.04
	介護保険	486,292	500,849	14,557	2.91
	簡易水道	100,116	209,221	109,105	52.15
	公共下水道事業	317,437	305,855	11,582	3.79
	農業集落排水事業	49,282	181,472	132,190	72.84
	合計	5,795,938	5,760,510	35,428	0.62

また、中小企業への支援などの商工費は7532万7千円、議会運営費などの議会費が6313万1千円、消防体制の確立、防災センターの管理などに使う消防費に1500万7千円の予算を計上しています。

億1776万3千円になっています。

次ページに続く